

◆ 『Intelligence』購読会員の皆さまへ：ニュースレターNo.27 (2015年5月号) ◆

さわやかな五月晴れが続くこの頃、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。さて、『Intelligence』15号がようやく刊行いたしました。藤色の表紙の最新号がお手許に届いている頃かと思えます。20世紀メディア研究会は5月30日、6月27日に開催予定ですので、こちらもお出席賜れば幸いです。ご愛読の会員の皆さまには、ニュースレターとともに、『Intelligence』会員専用ウェブサイト <http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html> とあわせてご覧いただければ幸いです。皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

【第92回20世紀メディア研究会】(4月25日(土)午後2時半～5時半)

・吉本秀子(山口県立大学)：「米国の沖縄占領と情報政策—分離決定期1947-1952に焦点を当てて—」は、ご近著『米国の沖縄占領と情報政策：軍事主義の矛盾とカモフラージュ』(春風社)に書かれた内、沖縄統治が統合参謀本部を頂点とする武官の支配と、大統領府NSCを頂点とする文官支配の二重構造の下、どのような政策により沖縄CIEが始動し、活動を展開していったのかを論じて下さいました。

・日比嘉高(名古屋大学大学院文学研究科)：「戦前外地の書物流通—取次を中心に—」は、戦前の外地で日本語の出版物を扱う「外地書店」の実態を、大阪屋号書店や東京堂、三省堂、菊竹金文堂などの動向から明らかにし、書物流通のネットワークがどのように構築されていたのか、それを考える枠組みも含めて論じて下さいました。

・田島奈都子(青梅市立美術館学芸員)：「戦時下の陸軍省における広報戦略—プロパガンダ・ポスターの制作実態を中心に—」は、陸軍省によるポスター制作が、1929年の陸軍記念日のポスターを起点に始められ、質量ともに他の省庁よりも優れていたこと、また陸軍省の広報活動の拡充とともに、陸軍美術協会が発足したことなど、地方紙の記事などから明らかにし、さまざまなポスターの画像とともに論じて下さいました。

※ なお、研究会当日に配布されたレジュメは、会員ホームページにアップされています。<http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html> をご覧下さい。

● 次回の20世紀メディア研究会は、5月30日(土)で、王楽さん、福岡大祐さん、井上理恵さんがご報告の予定です。その後は、6月27日(土)、7月25日(土)を予定しております。なお、NPOインテリジェンス研究所による諜報研究会は7月11日(土)に、中野エクステンションセンターで開催予定です。また、ご報告御希望の方は、20世紀メディア研究所事務所 m20th@list.waseda.jp まで、メールにてご一報下さい。

【気になる新著紹介】

玄武岩編『越境するメディアと東アジア—リージョナル放送の構築に向けて』(勉誠出版)は、アニメソング、テレビドラマといった放送の内容、およびメディアのファンドやネットビジネス、そして原爆や領土問題の描き方などを通じて、東アジアにおけるリージョナル放送空間の構築を検討している。奈良岡聰智著『対華二十一カ条要求とは何だったのか』(名古屋大学出版会)は、第一次世界大戦時に日本が中国に突きつけた二十一カ条要求と日本の外交世論を、当時の日本及び英国の新聞雑誌や外交文書を検討し、反日運動の興隆と日中対立へと決定的な転換をもたらした経緯を考察している。

【コラム：映画『イミテーション・ゲーム』雑感】

しばらく前に、珍しく映画館へ行き『イミテーション・ゲーム』を観た。ドイツ軍が誇った暗号エニグマに挑戦した天才数学者アラン・チューリングの話である。現在、人気沸騰のベネディクト・カンバーバッチが主演で、暗号の仕組みなど難しい専門用語は一切出さずに、上質の娯楽作としてよくしあがっていた。それでも、暗号解読を指示する英国軍と暗号解読班との関係、さらに暗号解読後に今後はそれを秘匿するために MI6 が一枚加わり、秘密を保持し生かすためには味方さえ裏切らざるを得ないというインテリジェンスの究極が垣間見られて興味深かった。また、チューリング・マシンやチューリング・テストなど、今日のコンピュータに関する基礎理論やアイデアを生み出したにもかかわらず、同性愛者ゆえに主人公が受けた、ホルモン注射の投与という残酷な強制的治療が 1950 年代の事で、それに政府が謝罪したのが 2009 年になってからだったというのにも驚いた。公文書の機密解除後に書かれた『エニグマ：アラン・チューリング伝』(1983 年)が、その後の再評価の基となっているが、インテリジェンスに関わる者の命運を考える上でも、一見の価値ある映画だと思う。

[5 月 17 日付文責：土屋礼子]